

青パト活動を応援する情報発信マガジン

ビッグ★ブルー

第5号

平成25年10月1日発行
発行：山形県警察本部

子ども見守り隊や駐在所と連携した青パト活動 ～遊佐町防犯協会西遊佐分会～

西遊佐地区は、人口約1,500人の遊佐町6地区の中では人口が最も少ない地区で、日本海に面した砂丘地や、佐藤藤左工門・藤蔵親子が苦勞を重ねて私財を投じて植栽したクロマツ林に囲まれた園芸地帯にあります。地域の特産品は、ネットメロン、小玉スイカ、青首大根、そして砂地を利用した長芋、長ネギなどで、特色ある農地のお陰で年間を通して様々な農作物が収穫できます。

私達が青色防犯パトロール活動を始めることとなったきっかけは、平成22年に遊佐町で青パト活動をするという知らせを受けたことによります。

8名の青パト隊を組織して最初に手を挙げたのが私達で、その年の8月に行われた役場庁舎前で出発式において、活動資機材一式（青色回転灯、ベスト、帽子、腕章）の貸与を受け、町長から青パト活動への期待を込めた激励をいただき、青パト活動を開始しました。

活動状況ですが、「西遊佐地区まちづくりの会」の地域安全部会の一員として認めてもらい、「西遊佐まつのっこ見守り隊」と連携して、地域が安全で安心して暮らせるようにパトロールを中心とした活動を行っています。具体的には、1班2名の4班体制で、毎週水曜日の小学生の登校時間に合わせて、午前7時にパトカーの先導で2台の青パト車が小学校を出発し、地区内を約1時間かけてパトロールしています。また、月末に定例会議を開催し、遊佐交番西遊佐駐在所の板垣巡査から防犯に関する情報提供をいただき、活動の反省と来月の活動計画を立てています。

青色回転灯を装着してパトロールするときは、いつも身の引き締まる思いで安全運転に努めています。パトロール中に、子どもたちから「おはようございます」とか、地区住民から「ご苦勞さん」と言葉を掛けてもらうたびにエネルギーをもらい、その度に責任の重さも感じています。



パトカーの赤色灯と青パトの青色灯のコラボレーション



西遊佐地区まちづくりの会では、毎年7月から8月にかけて、農地の野荒し警戒活動と住宅の防犯診断を行っており、私達も期間中の夜間（19時～21時）に、警察と連携して農地のパトロール活動を実施しています。パトカーの赤色灯と青パトの青色灯が通り抜ける光景は遠くからも確認できるので、防犯効果は抜群ではないかと思えます。

今後も、「地域の安全は地域で守る」を合言葉にして、ボランティア活動といえども使命感をもって活動を続けていきたいと思えます。

（文～遊佐町防犯協会西遊佐分会 大井 英夫）

【編集後記】今年の夏は、高温と異常気象が重なり大変でしたが、いかがお過ごしでしょうか。10月11日から20日までの10日間は「全国地域安全運動」です。地域住民、関係機関・団体、警察の連携を深めて、安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをよろしくお願ひします。

【山形県内の青パト情勢】
（平成25年9月末現在）
団体数：86団体3,455名
青パト台数：1,158台